



優秀演題論文集

当番世話人 池田 健次 虎の門病院肝臓内科

開催日時：2016年1月16日(土)

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム（東京都港区）

「The Liver Cancer Journal」では、「日本肝がん分子標的治療研究会」の準機関誌といたしまして、年2回開催されます同研究会の優秀演題論文集を掲載して参ります。掲載演題につきましては、Session 座長の先生方よりご推薦いただきました。

PROGRAM

Session
1

肝細胞癌に対する DPP-4阻害剤の薬効評価

仁科 惣治 川崎医科大学肝胆膵内科学

Session
2

簡便な血清中Sorafenib 濃度測定法の開発と応用

坂内 良規 東邦大学薬学部・病態生化学研究室

Session
3

当院におけるソラフェニブ投与例の成績と長期生存例の検討

西島 規浩 大阪赤十字病院消化器内科

Session
4

当科における肝外転移を有する肝細胞癌治療の現状

高田 昇 金沢大学附属病院消化器内科

Session
5

ソラフェニブによる血流低下機序と濃厚鰹だし飲用の有効性の検証

品川 陽子 新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野

Session
6

進行肝細胞癌における Sorafenib +5-FU 併用療法の検討

荘 拓也 北海道大学大学院医学研究科消化器内科学

共催
シンポジウム

アンジオテンシンII受容体阻害薬併用による影響(基礎研究)

野口 隆一 奈良県立医科大学内科学第三講座(消化器・内分泌代謝内科)